

山千寺観音堂屋根修復工事の見学会が行われました。

長年の懸案だった山千寺観音堂の屋根葺き替え工事が7月から始まっています。これまで屋根を覆っていた古いトタン板が撤去されたタイミングの8月18日(日)、資金の積み立てや寄付に協力いただいた方々をご案内し観音堂の現状と工事状況を見ていただきました。

工事施工業者から、これまでの経過報告と屋根から剥がし撤去した古いトタン板や下地の木材などを示しながら腐蝕、老朽の状況について詳しい説明を受け、これまで耐えた驚きと感謝の念にひたされました。

見学会を通して、若槻地区唯一の国の重要文化財である「銅造観音菩薩立像」を祀る「観音堂」がこのような痛々しくいつ倒壊してもおかしくない状況におかれていること、今回の屋根葺き替えは「観音堂修復計画」の始めの一歩であり、地域の歴史的文化的遺産として維持するには、基礎部分の地盤の補強、張り出し舞台の修復、回廊・本体の補強修理など多くの修復工事が必要です。

工事には多くの資金と時間が必要であり、保存会の会員はもとより若槻地区の皆さんのご理解とご協力を欠かすことは出来ません。保存会としても最大の努力で取り組みますので、ぜひ若槻地区挙げての支援をお願いいたします。尚、見学会には長野市民新聞社から取材に来られ、8月20日の一面で大きく紹介していただきました。

(山千寺史跡保存会)



令和6年度若槻自然遺産活用事業

第1回若槻自然遺産散歩会(髻山・三登山林道コース)

9月14日の土曜日の午前中、今年度1回目の若槻自然遺産散歩会を実施しました。参加者は一般参加された2名と部会員6名の8名。講師は大村道雄先生です。

コースは、駐車場から髻山へのトレッキングコースをたどって旧髻集落跡、観音清水を経て髻山山頂へ。山頂からは三登山林道、隈取川沿いの道を下って駐車場に戻るルートです。

生い茂った竹やぶに埋もれた旧髻集落跡を経て、観音清水へ。さらにのぼり、杉林を抜けて「カタクリの群生地」を経て髻石の採石場跡を俯瞰し山頂へ。髻城跡である頂上からは志賀の山々、奥信濃の眺望が疲れた体を癒してくれました。

頂上を後にし、林道を下る。最初の尾根を回りこんだところで立ち止まった。目の前にトンガリ帽子のような岩が立ちはだかっていた。林道から日照りの藪の中へ、岩の裏に回り込んで説明を聞く。目の前に、灰白色の白い壁が広がる。これが「白い岩-裾花凝灰岩」だ。浅川の白岩、安茂里小市や小田切ダム周辺野の白い崖、百景苑裏から県庁西の裾花側右岸の崖、中尾山温泉西の白い岩峰群と長野盆地(善光寺平)の西側の急崖に沿って、所々に白い山肌が見える。その最北端を示すのがこの岩だとのこと。

隈取川を横断する林道から源流部を見上げる場所で、「鬼岩トンネルと奇岩群」が紹介された。トンネルを通る道は現在通行止めになっていて現場を直接見ることは出来ない。昭和10年に開通した「鬼岩トンネル」。明治の初めの全国調査資料付図の「吉村」には「鬼岩」「鬼岩岸」の地名が登場する。

何気に眺めていた髻山や三登山でしたが、そこには直接目に触れることはないが、ダイナミックな自然の姿と先人たちの喜々交々が隠されているのです。

たくさんのお話を伺って、隈取川に沿った車道をくだり出発地の駐車場に戻りました。参加者一同、4.5kmという長いコースではありましたが、楽しく充実した時間を過ごせました。皆さんにもぜひとも秋を感じながら歩いてみることをお勧めします。

(自然環境部会)



新「譲ります!探してます!」コーナー

このコーナーでは不要となった家具や家電製品・農機具などを紹介し、必要な方に再利用していただくことにより、一般家庭廃棄物の削減(SDGS)に取り組みます。

譲ります!

○木製事務机
(横121cm、奥行き75cm、高さ71cm)
良品(椅子は無し)
10月末までにご連絡下さい。
【問合せ先】瀧澤豊喜様 TEL:296-1798
住所:徳間1624-26(東徳間)

以下をご承知いただき申し込まれた方の製品を順次ご紹介いたしますので、製品の確認や価格等についての交渉は直接ご本人同士で行って下さい。

広報紙へは以下の項目を掲載します。このコーナーにふさわしくない物件は掲載をお断りする場合がございます。

広報紙へは以下の項目を掲載します

- ①譲るor求む ②製品仕様(製品名、サイズ、メーカー、型番、購入年月など分かる範囲で)
- ③状態(完動品/故障ありなど) ④氏名、連絡先(電話番号等)

◎申し込み方法:メール、FAX、文書

◎申し込み先:コミわか事務局/

mail:komiwaka@bj.wakwak.com、FAX:266-0034

住所:〒381-0084長野市若槻東条505-1